

令和3年8月豪雨災害被災地支援を考える

～ その時 そしてこれから ～

共催 公益社団法人青森県社会福祉士会・一般社団法人青森県介護福祉士会下北支部

後援 風間浦村

令和3年8月9日からの大雨被害は、本州最北端の地に大きな爪痕を残しました。生活道路の寸断による孤立、自主避難ができない高齢者、絶大なファンがいる観光地の再興、そこから見えるのは”共助(ともに関わり合う)”の力の必要性だったのではないのでしょうか。当時、何が起きたのか、何を大事にしたのか、私たちは何をすべきか一緒に考えてみませんか？

語り手

阿部定徳 様 (特別養護老人ホーム延寿園・園長)

長谷雅恵 様 (まるほん旅館・女将)

藤井翔太 様 (むつ青年会議所・専務理事)

コーディネーター

鳴海 孝彦 (八戸学院大学短期大学部准教授)

(公社)青森県社会福祉士会被災地支援担当理事/青森県災害福祉コーディネーター



日時 令和4年9月11日(日)13:30～15:00

場所 下風呂公民館 研修室(駐車場は裏です)

定員 先着40名(参加無料)

申込・お問合せはお電話か QR コードからお願い致します

公益社団法人青森県社会福祉士会事務局 電話 017-723-2560(平日10時-16時)

ホームページ <https://www.aacsw.or.jp/>

参加申込 QR コード



ご来場の際はマスク着用と手指消毒をお願い致します。当日の中止もありえますのでご了承下さい